

令和5年度

事業計画書
一般会計収支予算書
法定台帳関係費特別会計収支予算書
中小企業相談所特別会計収支予算書
倉敷商工会館特別会計収支予算書
会員共済事業特別会計収支予算書
特定退職金共済事業特別会計収支予算書
倉敷商工会館修繕引当金特別会計収支予算書
退職給与積立金特別会計収支予算書
財政調整基金特別会計収支予算書
労働保険事務組合特別会計収支予算書
委員会特別会計収支予算書
倉敷商工会議所青年部特別会計収支予算書
倉敷商工会議所女性会特別会計収支予算書
くらしきTMO特別会計収支予算書

倉敷商工会議所

令和5年度事業計画

1. 基本方針

日本経済は、先進諸国よりも競争力が低下しているといわれ、少子高齢化、就労人口の減少、エネルギー問題をはじめデジタル化やグローバル化への対応など構造的課題に直面しています。中小企業は地域経済を牽引して再び強く豊かな国家に変える重要な担い手になる必要があり、コロナ禍にあっても新事業展開、人材育成の強化など自己変革に努力してまいりました。

岸田内閣の「新しい資本主義」は①人への投資と分配②科学技術イノベーション③スタートアップ、イノベーション④脱炭素やデジタルを重点投資と位置付けています。国の2023年度一般会計の総額は114兆円台と過去最大となり、税収も70兆円を見込み、35兆円台の国債を発行します。中でも防衛費は11年連続で7兆円弱を占め、新型コロナウイルス対策など臨時予備費も5兆円計上しています。

世界は2050年カーボンニュートラルへ向かって加速しています。製造業が集積する水島コンビナートの脱炭素化を進めるため、岡山県は産学官連携「カーボンニュートラルネットワーク会議」を組織し「バーチャル・ワン・カンパニーの実現」「グリーンイノベーションコンビナート戦略」「水島ハイパーロジスティクス港湾戦略」の協働プロジェクトを立ち上げました。

三菱自動車工業(株)水島製作所の新型EVの生産、JFEスチール(株)西日本製鉄所の高効率型電気炉の導入、倉敷市と連携した旭化成(株)水島製造所の高純度のメタンガスを精製する実証実験、中国電力(株)水島発電所の水島2号機(非効率石炭火力)今年度4月廃止等で、カーボンニュートラル社会の持続的な発展と競争力強化に取り組みます。国は2035年までに国内の新車を全て電動車にする方針で、三菱自動車工業が軽タイプEV4万台強を受注したこともあり、自動車産業に期待を寄せています。

日本商工会議所の中長期行動計画では中小企業のイノベーションの創出・成長支援、人と企業が輝く地域の創造、人材の育成・リスクリングの推進、地域資源を活用した新商品開発、販路拡大を掲げています。

政府と日商が提唱する「健康経営」については、中小企業の健康経営優良法人認定も12,255社と着実に進展しています。当所は全国の会議所に先駆けて「医療・福祉部会」「健康・福祉委員会」を組織化しており、関係機関と共に職場における「健康づくり」と「治療と仕事が両立できる環境づくり」等、職員自らも両立支援コーディネーターとして会員企業のサポート体制を構築します。

インボイス制度が本年10月1日に実施されるなど、中小企業の電子化は待ったなしです。当所は専門家と連携して円滑に移行できるように対処します。

ものづくりをはじめ地域産業はクローズドイノベーションからオープンイノベーションへと変化しています。昨年協定を結んだ5商工会議所(姫路・松本・福山・北九州・倉敷)は、ものづくり・まちづくり・にぎわいづくり等の広域連携を推進し、足元では「高梁川流域『倉敷三斎市』」で流域商工会議所及び商工会を通じて事業者と共に賑わい創出を図り、市内5経済団体協議会と倉敷市で一体感を持ったまちづくりに取り組みます。昨年10月に設立した「くらしき美観地区観光事業者振興会」と連携し、ポストコロナを見据えた観光産業の足腰を強化する支援や他の地域との違いを明確に打ち出した観光資源づくりに観光事業者と共に取り組みます。

本年も役職員一同、地域企業の皆様を全力で支援する所存です。

2. 重点事業

(_____ 新規事業)

(1) 新倉敷商工会館建設とまちづくりの強化

倉敷商工会議所創立90周年記念事業として建設した新倉敷商工会館は、昨年10月1日にグランドオープンした。商工会議所として全国で初めてとなったZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）実証事業への関心は高く、日本商工会議所はもとより（一社）日本経済団体連合会や県内外の各地商工会議所から視察が相次いだ。今後も視察等を積極的に受け入れ、ZEB普及と脱炭素社会の構築、各地の商工会館建設推進に貢献する。

令和11年の100周年に向け、100年史の編纂に着手する。まず倉庫に保管された資料や写真を整理し、利用しやすい状態にして後世に引き継ぐ。当商工会議所の名に恥じない100年史を編纂し、歴史と文化を生かしたまちづくりや産業振興につなげたい。なお、100周年記念プロジェクトの検討にも着手する。

昨年10月に姫路、松本、福山、北九州商工会議所と全国的にも珍しい広域連携協定を締結し、同11月から同12月にかけて4つのワーキンググループも立ち上げた。情報交換の段階だが、各商工会議所の事業には参考になるものが多く、交流を進める中で具体化を図る。

くらしきTMO事業で、高梁川流域「倉敷三斎市」は一昨年11月から暫定開催しているが、コロナ禍で出店数が減少している。テコ入れのため昨年末から流域商工会議所との連携再構築に着手し、集客と回遊性の向上を目指し「あちてらす倉敷」で同日に開催しているイベントとの連携も始めた。本年度中に何とか成果を出したい。倉敷屏風祭は昨年10月、3年ぶりに開催することができた。その一方で、住民の高齢化を背景にして、在り方の検討に迫られている。これらの問題を解決し、中心市街地のにぎわいを復活したい。

当地域では、まちづくりが観光振興につながった歴史がある。地域の歴史や文化、芸術を見直し倉敷のアイデンティティを踏まえた質の高いまちづくりを進め、基幹産業の一つである観光業のさらなる発展につなげたい。また、長年懸案となっていた美観地区の組織化が昨年11月、「くらしき美観地区事業者振興会」として実現し、当商工会議所として積極的に支援していく。

項 目	細 目
1. 新倉敷商工会館の建設	① 設計事務所、施工会社との連携 ② 新倉敷商工会館の効率的な運営 ③ <u>新倉敷商工会館視察等の積極的受け入れ</u>
2. 連携による拠点性の強化	① 産・学・官連携の推進 ② <u>姫路、松本、福山、北九州商工会議所との連携推進</u> ③ <u>高梁川流域商工会議所、商工会との連携再構築</u>

<p>3. 倉敷市中心市街地活性化協議会への参画</p>	<p>④ 玉島・笠岡道路、笠岡バイパスの早期開通 ⑤ 羽島四十瀬線（倉敷商工会館前）の無電柱化推進</p> <p>① JR 山陽本線倉敷駅付近高架化事業の早期推進 ② 市街地内の交通渋滞解消への取り組み ③ 倉敷駅周辺再開発が与える影響の各種調査・研究</p>
<p>4. 暮らしき TMO 事業の推進</p>	<p>① 高梁川流域「倉敷三斎市」の本格再開 ② 倉敷屏風祭の在り方検討 ③ 倉敷フォトミューラルなど文化イベントの開催</p>
<p>5. 観光振興による交流人口の増加</p>	<p>① 近隣商工会議所や岡山県観光課との意見交換会 ② 「<u>暮らしき美観地区事業者振興会</u>」への積極的支援 ③ 倉敷駅・美観地区周辺の渋滞・駐車場不足対策</p>
<p>6. <u>100周年記念事業</u></p>	<p>① <u>100年史編纂に向けた資料・写真の整理</u></p>

(2) 産業振興と中小企業の支援

全国有数の工業都市であり、観光都市であり、医療福祉都市でもある倉敷市が、さらに発展していくためには、新しい産業の創出が重要である。

航空宇宙産業推進では昨年、（一社）MASC が空飛ぶクルマの試験飛行を全国各地で行い、笠岡で離島物流実証実験も実施し、当商工会議所もサポートした。県境をまたぐ瀬戸内海沿岸の12商工会議所・商工会、MASC による広域連携組織「次世代モビリティ瀬戸内コンソーシアム」で枠組みは整っており、実証実験の成果を横展開し、2025年の大阪・関西万博を見据えた瀬戸内海航路の開拓を目指したい。

倉敷と水島の一体化、水島地区の活性化はまちづくりの上でも意義深いことであり、3年連続で中止となっている倉敷天領夏祭りとは水島港まつりの連携など、できるところから着手する。

一方、我が国及び地域経済を支える中小企業、小規模事業者、個人事業者の支援は、商工会議所にとって最も重要な業務の一つである。特に小規模事業者や個人事業者の経営改善を支援し、創業、事業承継、日本政策金融公庫の全国ネットワークを活用したマッチング支援を推進していくことは、地域経済を守る要である。コロナ禍の動向を見極めながら、支援制度をPRし助言、指導、支援をしっかりと行っていきたい。需要開拓や事業承継などの課題解決を支援する伴走型小規模事業者支援推進事業を引き続き実施し、小規模事業者持続化補助金など各種補助金の申請支援によって強力に小規模事業者を支援する。

10月1日にはインボイス制度が施行され、令和6年1月には改正電子帳簿保存法の完全施行が控えている。セミナーや個別相談会の開催で周知に努め、中小零細企業、個人事業者が困ることが

なく対応できるように中小企業相談所で強力に支援する。特にインボイス制度では、免税事業者の登録が進んでおらず、企業間取引が主力の小規模事業者は、納入先の消費税負担が増える可能性もあり、その対応が喫緊の課題である。

また、人口減少に対応し、少しでも他都市への流出防止に資するには、生活環境の向上も求められる。生活の質を向上させる地域の文化・芸術、スポーツの充実は、郷土愛醸成（倉敷未来プロジェクト）にもつながり、支援を充実していきたい。

項 目	細 目
1. 新しい産業創出への支援	① 航空宇宙産業推進協議会事業の推進 ② (一社) M A S Cとの連携 ③ 「次世代モビリティ瀬戸内コンソーシアム」の運営
2. 国・県・市との連携による中小企業の支援	① 新型コロナウイルス感染症対策への支援 ② ぐらしき創業サポートセンター事業の推進 ③ 伴走型小規模事業者支援推進事業の実施 ④ 各種補助金の申請支援 ⑤ 事業承継の取り組み支援 ⑥ 事業継続力強化計画策定支援 ⑦ <u>小規模事業者のインボイス制度対応支援</u> ⑧ <u>改正電子帳簿保存法への対応支援</u> ⑨ <u>「倉敷市小規模企業・中小企業振興基本条例」制定の推進</u>
3. 水島地区の活性化	① 水島コンビナート総合特区戦略への支援 ② 水島地区のまちづくり支援 ③ 水島の工業地帯を中心とした企業における脱炭素化への取り組み支援 ④ 倉敷天領夏祭り和水島港まつりの連携検討
4. 産業振興と地域活性化	① 倉敷市など関係機関と関連委員会による意見交換・懇談会の開催 ② 医療・福祉のまちづくり ③ 「倉敷未来プロジェクト」の推進 ④ まちづくり講演会や流通セミナーなどの開催 ⑤ 「地産地消」運動の普及 ⑥ <u>地域の文化・芸術、スポーツへの支援</u>

(3) 働き方改革とデジタル推進

当商工会議所でも、令和2年に新しい就業規則を制定したのをはじめ、事務局の働き方改革は制度的には進んできた。一方、新商工会館建設によって業務内容や仕事の進め方も変わってきていることを背景として、組織は過渡期にあり、新しい在り方が求められている。

デジタル化については、常議員会や議員総会のペーパーレス化、会報のメール配信、90%近い会員事業所のメールアドレス取得、デジタルサイネージ導入などの成果を上げた。中でも、スマートフォンを活用した「オフィスリンク」の採用とグループウェア「desknet's NEO」の連動は、広域連携協定を結んでいる県外の商工会議所から関心呼び、導入に向けた検討に入っているところもある。

こうしたショールーム的機能を果たすと同時に、今後はRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の研究を深掘りし、大幅な省力化を図るために導入を模索したい。

また、新しいメールリングリストを導入したことで、データの絞り込みが容易になったため、会員事業所のニーズに合わせた効果的な情報発信に努める。

「デジタル推進懇談会」では、会員間の連携によるデジタル化の課題解決やデジタルリスキング（人材の再教育や再開発）を検討するなど、会員事業所のデジタル化推進に貢献していきたい。

項 目	細 目
1. 労働・雇用対策の推進	① 倉敷発達障がい研究会への参画 ② コンプライアンスの徹底 ③ 外国人労働者の受け入れ支援 ④ インターンシップの推進
2. AI、IoT、5Gへの対応	① AI、IoTの研究、利用促進 ② キャッシュレス化に向けた調査・研究
3. 観光情報の発信	① デジタルサイネージの普及及び利活用 ② インターネットを活用した観光情報の発信
4. デジタル推進による業務効率化	① 会員事業所メール登録の推進 ② 各種検定試験のオンライン受験推進 ③ 各種調査業務のデジタル化推進 ④ 「デジタル推進懇談会」の運営 ⑤ RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の研究 ⑥ 効果的なメールリングリストの活用

(4) 「稼ぐ力」とカスタマーファースト

新商工会館建設に端を発した中期経営計画は今年度、最終年度を迎える。建設に合わせ、すべての委託業務を見直し、経費削減、体質改善に努めた結果、令和3年度決算までの収支は策定時よりも上振れしており、順調に推移している。

建設協力金や補助金が予想以上に確保でき、新型コロナ対応で相談に訪れた事業所の入会が相次いだことも大きい。かつて年間の入会数は100～130件だったが、新型コロナ対応で上昇し、令和4年4月は127件、同5月は106件、同6月は80件にも及んだ。今年度は退会防止が大きな課題になる。

また、入会には個人3口以上、法人4口以上が必要だが、長年加入いただいている会員の中には、基準を下回る事業所もあり、公平を期すためにも適正化を進めたい。

収納業務の効率化にも取り組む必要があり、口座振替率は会費が79%、特定商工業者負担金が57%にとどまっており、振り込みの会員は718事業所、特定商工業者は961事業所もある。未払い事業所には年度末に集金に回っており、職員の負担軽減と収納率アップのため、この問題を解決しなければならない。

会報の充実によって、紙面で紹介する事業所の数は増えており、さらに会員事業所の情報発信を支援する。

役員、議員、職員が一丸となって取り組んだ結果、財務基盤の強化は進展。今後、さらなる高みを目指し、地域社会への貢献や会員事業所へのサービス向上にさらに取り組まなければならない。

項 目	細 目
1. 組織の強化、財政基盤の確立	① 会員加入の強化 ② 各種共済制度の加入促進 ③ 収益事業の再評価 ④ <u>退会防止の強化</u> ⑤ <u>会員口数の適正化</u> ⑥ <u>会費・特定商工業者負担金の口座振替推進</u>
2. 効率的な施設運営とサービス強化	① 貸会議室の効率的な管理運営の検討 ② 会報の紙面充実 ③ 会費、使用料等のキャッシュレス化検討

(5) 倉敷スタイルのSDGsの取り組み

2015年9月、国連総会で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、人権を尊重し、人間を中心とした考え方である。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標が定められている。

1954年の「高梁川流域連盟」設立趣意書に謳われている運命共同体の理念は、SDGsに通じるものがあり、当地においては親和性が高い。企業にとって利益追求は重要だが、社会的責任を果たし、両立を図ることが求められる時代を迎えている。

当商工会議所は、全国に先駆けて医療・福祉部会、健康・福祉委員会を設立し、「すべての人に健康と福祉を」を先取りした。また、令和3年から毎年、健康経営優良法人の認定も受けている。今回、全国的にも珍しい医師の副会頭が誕生したことを奇貨とし、関係機関と連携して、健康経営を強力に推進する。

グローバルな目標に地域の中で取り組み、「倉敷スタイルのSDGs」を模索していきたい。

項 目	細 目
1. SDGsを学ぶ	①SDGsに関する勉強会、講演会の開催 ②SDGsについての相談、コンサルティング会社等の紹介
2. すべての人に健康と福祉を	③健康経営として治療と仕事が両立できる環境づくり（ <u>両立支援コーディネーター</u> ）【目標3】 ④新しいがん検診を含む検診受診率改善に向けた小規模事業者への啓発活動【目標3】 ⑤倉敷市独自の受動喫煙防止条例制定に向けた提言活動【目標3】
3. 働きがいも経済成長も	⑥テクノロジーの発展による新たな雇用の創出と人材育成【目標8】
4. 産業と技術革新の基盤をつくろう	⑦空飛ぶクルマも含めた自動運転など交通革命への取り組み【目標9】 ⑧ <u>水島のカーボンニュートラルネットワーク会議事業を支援</u> 【目標9】
5. 住み続けられるまちづくりを	⑨倉敷美観地区の未来デザイン検討（オーバーツーリズム他）【目標11】 ⑩ドローンを活用した新時代の物流事業への取り組み【目標11】

3. 事業項目

(1) 意見要望・研究活動

会員の意見を結集し、地域産業経済の改善発達を図るために諸会議を開催し、日本商工会議所をはじめ国、県、市など関係機関に対し提言、要望を行う。

項目	細目
1. 諸会議の開催	
2. 施策・制度、地域の活性化に関する要望、提言	

(2) 経営環境変化に対応する地域産業への支援

地域産業活性化に向けて、情報化、国際化、技術化、環境問題など新たな経営環境変化へ対応する。

項目	細目
1. IT（情報技術）の利用促進	① IoT、AI、5Gの研究、利用促進のための講習会・セミナーの開催 ② マネーフォワードクラウド会計制度の推進
2. 国際化への対応	① ジェトロとの定期的情報交換会の開催 ② 翻訳サービスに関する情報提供
3. 技術開発・産学共同研究の支援	① 高校生の地域資源活用への支援
4. 環境・エネルギー問題などへの対応	① ZEB実証事業の実施 ② 下水道管路更生事業の推進

(3) 魅力ある都市づくりの実現

倉敷市の拠点性を高め、活力ある都市、地域にするため、行政、関係団体との連携を強化、産業、福祉などの観点から都市基盤の整備促進を図るとともに地域の活性化に資する活動を展開する。また、慢性的な人手不足や働き方改革を背景として、社会福祉事業へ積極的に参画する。

項目	細目
1. 交通体系の調査・研究と物流機能の整備促進	

2. 地域イベントの開催と推進	① 「TEAM K6」事業を開催
3. 社会福祉事業への参画	① 医療、福祉分野の人手不足と外国人従業者の実態に関する情報提供 ② がん治療の現状と事業者の取り得る対応についての調査研究

(4) 中小企業の活力強化と小規模企業の経営基盤の強化

地域経済を支える中小企業の経営基盤の強化を図るため、商工業振興対策、調査活動、労働対策を推進するとともに、小規模事業者のためにきめ細かい経営改善普及事業を推進する。

項 目	細 目
1. 商工業振興対策	① 地域商工業振興対策 ② 講演・講習・研究事業の推進 ③ 商工技術と産業教育の振興
2. 地域産業動向、経営環境変化に関する調査活動	
3. 中小・小規模企業対策の推進	① 経営相談、税務相談など指導事業の充実 ② 融資、共済制度などの利用促進 ③ メディア等を活用した創業者・会員事業者への広報支援

(5) 多様な会員サービスの展開

優良商工従業員表彰や共済制度、従業員福祉など多岐にわたる会員サービスの拡大強化に努めるとともに、広報活動を強化、会議所活動への会員事業所の積極的な参加・利用を促す。

項 目	細 目
1. 会員サービスの充実	① 電子証明書の取次業務と割引クーポン券の発行 ② 各種共済制度等への加入促進と加入者還元事業の推進
2. 広報活動の強化	① ソーシャルメディアの活用検討

以 上

予 算 書

令和5年度予算総括表

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所
(単位 千円)

会 計 別	本年度予算額	前年度予算額	比較増減 (△)	備 考
一 般 会 計	316,422	184,983	131,439	
法定台帳関係費特別会計	6,748	7,334	△ 586	
中小企業相談所特別会計	84,470	85,862	△ 1,392	
倉敷商工会館特別会計	128,455	119,875	8,580	
会員共済事業特別会計	18,088	19,995	△ 1,907	
特定退職金共済事業特別会計	511,001	484,001	27,000	
小 計	1,065,184	902,050	163,134	
倉敷商工会館修繕引当金特別会計	91,736	67,365	24,371	
退職給与積立金特別会計	114,648	104,549	10,099	
財政調整基金特別会計	77,001	0	77,001	
小 計	283,385	171,914	111,471	
労働保険事務組合特別会計	8,850	8,650	200	
新会館建設特別会計	—	247,948	△ 247,948	
委員会特別会計	17,036	0	17,036	
倉敷商工会議所青年部特別会計	6,960	7,200	△ 240	
倉敷商工会議所女性会特別会計	7,227	10,088	△ 2,861	
くらしきTMO特別会計	26,440	26,870	△ 430	
小 計	66,513	300,756	△ 234,243	
合 計	1,415,082	1,374,720	40,362	
純 計(各会計間の重複を除く)	1,318,220	1,231,462	86,758	

(上記純計に含まれる繰越金)	461,861	471,147	△ 9,286
差 引	856,359	760,315	96,044

令和5年度一般会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

収入の部

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 会 費		78,200	75,000	3,200	
	1. 会 費	78,200	75,000	3,200	19,525 口 (1 口 4,000 円)ほか
2. 事業収入		28,900	29,300	△ 400	
	1. 検 定 料	3,100	3,500	△ 400	珠算、簿記、販売士等 検定料
	2. 事務受託費	1,200	1,200	0	税団協等事務受託料
	3. 報 奨 金	3,000	3,000	0	労働保険報奨金
	4. そ の 他 事業収入	21,600	21,600	0	広告料、各種使用料、 手数料ほか
3. 市補助金		0	0	0	
	1. 市補助金	0	0	0	
4. 寄付金		0	0	0	
	1. 寄 付 金	0	0	0	
5. 雑収入		1,500	700	800	
	1. 雑 収 入	1,500	700	800	預金利子、その他雑収 入
6. 繰越金		207,822	79,983	127,839	
	1. 繰 越 金	207,822	79,983	127,839	前期繰越金
7. 繰入金		0	0	0	
	1. 繰 入 金	0	0	0	
合 計		316,422	184,983	131,439	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比較増減 (△)	備 考
1. 給 与 費		5,517	3,468	2,049	
	1. 給 料	3,682	2,402	1,280	職員給料
	2. 諸 給	607	265	342	諸手当
	3. 賞 与	1,228	801	427	期末手当
2. 旅 費		100	0	100	
	1. 旅 費	100	0	100	出張旅費、交通費
3. 事 務 局 費		5,300	2,500	2,800	
	1. 通 信 費	2,000	1,000	1,000	電話、郵便料
	2. 什器備品費	1,000	200	800	パソコンほか
	3. 消 耗 品 費	1,500	600	900	事務用消耗品
	4. 函 書 印 刷 費	300	500	△ 200	事務用諸印刷、図書費 ほか
	5. その他事務費	500	200	300	電算事務費ほか
4. 法 定 台 帳 関 係 費		568	1,154	△ 586	
	1. 法 定 台 帳 関 係 費	568	1,154	△ 586	法定台帳関係費特別 会計繰入金
5. 会 議 費		250	500	△ 250	
	1. 会 議 費	250	500	△ 250	議員総会、常議員会、 その他諸会議
6. 事 業 費		41,439	41,022	417	
	1. 相 談 所 費	13,089	14,222	△ 1,133	中小企業相談所特別 会計繰入金
	2. 商 工 振 興 費	20,000	20,000	0	商工振興、意見活動、 講演会、講習会、懇談 会、説明会、研究会、 表彰、商工技術、各種 競技会、観光、情報
	3. 広 報 費	3,000	2,000	1,000	会報発行費
	4. 調 査 研 究 費	50	100	△ 50	貸金関係調査、LOBO 調査、その他各種調査 費
	5. 部 会 費	1,200	1,000	200	部会活動諸費
	6. 委 員 会 活 動 費	1,600	1,000	600	委員会活動費
	7. 事 業 支 援 活 動 費	200	200	0	各種事業等への支援 活動に係わる活動費

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
	8. 商業活性化 事業費	2,000	2,000	0	商業まちづくり事業費
	9. その他事業費	300	500	△ 200	その他の事業費
7. 渉外費		100	100	0	
	1. 渉外費	100	100	0	慶弔関係費
8. 分担金		3,500	3,500	0	
	1. 分担金	3,500	3,500	0	日商、中連、県連会費 その他関連団体負担金
9. 福利厚生費		1,473	1,067	406	
	1. 福利厚生費	1,473	1,067	406	社会保険料、その他福 利厚生費
10. 退職給与 積立金		479	313	166	
	1. 退職給与 積立金	479	313	166	退職給与積立金特別会 計繰入金
11. 雑費		6,500	4,000	2,500	
	1. 雑費	6,500	4,000	2,500	消費税ほか諸雑費
12. 基金引当金		0	0	0	
	1. 基金引当金	0	0	0	
13. 繰出金		24,745	16,878	7,867	
	1. 繰出金	24,745	16,878	7,867	商工会館特別会計繰入
14. 次期繰越金		226,451	110,481	115,970	
	1. 次期繰越金	226,451	110,481	115,970	
合 計		316,422	184,983	131,439	

令和5年度法定台帳関係費特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収 入 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 負 担 金		6,180	6,180	0	
	1. 本 年 度 負 担 金	6,150	6,150	0	特定商工業者負担金 3,000円×2,050名
	2. 過 年 度 負 担 金	30	30	0	特定商工業者負担金 3,000円×10名
2. 補 填 金		568	1,154	△ 586	
	1. 補 填 金	568	1,154	△ 586	会議所補填金
3. 繰 越 金		0	0	0	
	1. 繰 越 金	0	0	0	
合 計		6,748	7,334	△ 586	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 給 与 費		3,418	3,737	△ 319	
	1. 給 料	2,248	2,402	△ 154	専任職員給料
	2. 諸 給	420	534	△ 114	諸手当
	3. 賞 与	750	801	△ 51	期末手当
2. 事 務 局 費		1,040	1,190	△ 150	
	1. 借 室 費	120	120	0	事務室借料
	2. 施 設 管 理 費	180	180	0	電灯料、電話基本料、 共益費
	3. 什器備品借料	240	240	0	軽四輪自動車
	4. 消 耗 品 費	500	650	△ 150	事務用品代、コンピュ ーター経費、その他消 耗品費
3. 事 業 費		1,330	1,360	△ 30	
	1. 印 刷 費	180	180	0	台帳用紙、依頼状、台 帳記入要領説明書、通 信用封筒
	2. 通 信 費	250	280	△ 30	台帳記入依頼状、台帳 返送料、督促状
	3. 交 通 費	0	0	0	
	4. 広 報 費	900	900	0	特定商工業者宛広報報 事業費
4. 福 利 厚 生 費		667	734	△ 67	
	1. 福 利 厚 生 費	667	734	△ 67	社会保険料、その他福 利厚生費
5. 退 職 給 与 積 立 金		293	313	△ 20	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	293	313	△ 20	退職給与積立金特別 会計繰入金
合 計		6,748	7,334	△ 586	

令和5年度中小企業相談所特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 補助金		59,381	59,640	△ 259	
	1. 補助金	59,381	59,640	△ 259	経営指導員人件費、補助員人件費、福利厚生費、福利環境整備費、旅費、事務費、事業費、経営安定事業費
2. 県連補助金		5,100	5,100	0	
	1. 県連補助金	5,100	5,100	0	広域サポーター人件費、福利厚生費
3. 市補助金		6,600	6,600	0	
	1. 市補助金	6,600	6,600	0	小規模企業指導事業費、中小企業指導事業費
4. 負担金		13,089	14,222	△ 1,133	
	1. 負担金	13,089	14,222	△ 1,133	会議所負担金
5. 手数料		0	0	0	
	1. 手数料	0	0	0	
6. 雑収入		300	300	0	
	1. 雑収入	300	300	0	預金利息ほか
7. 繰越金		0	0	0	
	1. 繰越金	0	0	0	
合 計		84,470	85,862	△ 1,392	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 俸 給 等		60,485	61,353	△ 868	
	1. 俸 給	40,957	41,945	△ 988	経営指導員俸給手当、 補助員俸給手当、職務 手当
	2. 諸 手 当	3,595	3,205	390	
	1. 扶 養 手 当	654	528	126	扶養手当
	2. 通 勤 手 当	2,401	2,137	264	通勤手当
	3. 住 居 手 当	540	540	0	住居手当
	3. 特 別 手 当	13,653	13,983	△ 330	期末手当
	4. 超 過 勤 務 手 当	2,280	2,220	60	残業手当
2. 福 利 厚 生 費		11,709	11,843	△ 134	
	1. 福 利 厚 生 費	11,709	11,843	△ 134	社会保険料、その他福 利厚生費
3. 退 職 給 与 積 立 金		5,146	5,256	△ 110	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	5,146	5,256	△ 110	退職給与積立金特別 会計繰入金
4. 指 導 事 業 費		4,860	5,200	△ 340	
	1. 指 導 事 務 費	1,710	2,200	△ 490	
	1. 指 導 事 務 費	1,410	1,900	△ 490	
	1. 調 査 研 究 費	10	20	△ 10	小規模事業実態調査、 資料購入費
	2. 会 議 費	30	30	0	諸会議費
	3. 備 品 費	100	100	0	什器備品費
	4. 消 耗 品 費	200	300	△ 100	事務用品、その他消耗 品費
	5. 印 刷 製 本 費	100	100	0	名刺代ほか
	6. 通 信 運 搬 費	550	550	0	電話、郵便料
	7. 燃 料 費	150	200	△ 50	軽四輪自動車ガソリン 代
	8. 修 繕 費	50	50	0	備品等修理費ほか
	9. 旅 費	100	100	0	指導旅費
	10. 其 他 事 務 費	120	450	△ 330	手数料ほか
	2. 金 融 指 導 事 務 費	300	300	0	小規模事業者経営改 善資金融資取扱事務 費、審査員謝金ほか

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比較増減 (△)	備 考
	2. 指導事業費	2,350	2,200	150	
	1. 講習会開催費	2,350	2,200	150	
	1. 集団指導	1,600	1,700	△ 100	講習会、説明会、セミナー開催費
	2. 個別指導	750	500	250	定時個別相談ほか
	2. 記帳指導員謝金	0	0	0	
	3. その他事業費	800	800	0	講習会、説明会等開催諸費ほか
5. 資 質 向 上 対 策 事 業 費		460	500	△ 40	
	1. 研 修 旅 費	0	0	0	
	2. 研 修 事 業 費	460	500	△ 40	経営指導員研修旅費
6. 経営安定特別 相 談 事 業 費		1,600	1,500	100	
	1. 特 別 相 談 事 業 費	1,600	1,500	100	経営安定特別相談事業相談員謝金、旅費、事務費ほか
	2. 講習会等出席 及び緊急対策 事 業 費 等	0	0	0	
7. 特 別 研 究 指 導 費		210	210	0	
	1. 主席経営指導員 特別研究指導費	140	140	0	研究指導手当、参考資料購入費、旅費
	2. 主任経営指導員 特別研究指導費	70	70	0	研究指導手当、参考資料購入費、旅費
合 計		84,470	85,862	△ 1,392	

令和5年度倉敷商工会館特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

収 入 の 部

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 使 用 料		83,300	84,827	△ 1,527	
	1. 貸 室 料	53,000	53,000	0	貸事務所等テナント料
	2. 使 用 料	10,500	9,864	636	デジタルサイネージ放映料、専用駐車場等使用料
	3. その他使用料	15,000	17,755	△ 2,755	会議室、展示室等使用料
2. 共 益 費	4. 特別使用料	4,800	4,208	592	電気、水道等使用料、附属倉庫、備品使用料ほか
		19,605	19,605	0	
3. 預 金 利 息	1. 共 益 費	19,605	19,605	0	テナント関係共益費
		5	5	0	
4. 雑 収 入	1. 預 金 利 息	5	5	0	テナント敷金、その他預金利子
		800	5	795	
5. 繰 入 金	1. 雑 収 入	800	5	795	その他雑収入
		24,745	15,433	9,312	
合 計	1. 繰 入 金	24,745	15,433	9,312	一般会計より繰入
		128,455	119,875	8,580	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 給 与 費		34,495	29,701	4,794	
	1. 給 料	24,186	20,931	3,255	役職員給料
	2. 諸 給	2,099	1,657	442	諸手当
	3. 賞 与	8,210	7,113	1,097	期末手当
2. 旅 費		0	0	0	
	1. 旅 費	0	0	0	旅費、交通費
3. 管 理 費		24,618	23,458	1,160	
	1. 電 力 料	5,100	4,486	614	電気料(中国電力試算、補助金減額)
	2. 水道使用料	1,148	1,148	0	上・下水道料
	3. 電 話 料	250	1,370	△ 1,120	電話基本料、通話料、電話設備リース料ほか
	4. 清 掃 費	4,950	4,884	66	清掃委託料
	5. 保 険 料	1,000	891	109	建物、什器、備品、機械等保険料
	6. 什器備品費	200	400	△ 200	什器備品費
	7. 通 信 費	350	35	315	郵便料、通信環境費
	8. 消 耗 品 費	900	500	400	消耗品費
	9. 印 刷 費	30	50	△ 20	諸印刷費
	10. 営 繕 費	100	100	0	施設、備品修理費
	11. 機 械 整 備 費	3,100	3,363	△ 263	エレベーター、冷暖房機、火災報知機、発電機等機械保守、整備、検査料、警備料
	12. 衛 生 費	2,050	1,089	961	会館衛生環境維持費
	13. 事 務 費	200	300	△ 100	事務用品、電算事務費
14. 駐 車 場 借 料	5,240	4,842	398	駐車場用地借上料	
4. 設 備 費		0	0	0	
	1. 設 備 費	0	0	0	
5. 会 議 費		20	20	0	
	1. 会 議 費	20	20	0	テナント会議等諸会議費

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
6. 福利厚生費		6,572	5,647	925	
	1. 福利厚生費	6,572	5,647	925	社会保険料、その他福利厚生費
7. 退職給与 積立金		3,145	2,721	424	
	1. 退職給与 積立金	3,145	2,721	424	退職給与積立金特別 会計繰入金
8. 雑 費		700	700	0	
	1. 雑 費	700	700	0	諸雑費
9. 減価償却費		37,505	49,411	△ 11,906	
	1. 減価償却費	37,505	49,411	△ 11,906	修繕引当金特別会計 繰入金
10. 租 税 公 課		19,200	5,917	13,283	
	1. 租 税 公 課	19,200	5,917	13,283	固定資産税ほか
11. 支 払 利 息		2,200	2,300	△ 100	
	1. 支 払 利 息	2,200	2,300	△ 100	借入金支払利息
合	計	128,455	119,875	8,580	

令和5年度会員共済事業特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

(単位 千円)

収 入 の 部

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 手 数 料		15,438	15,550	△ 112	
	1. 生 命 共 済 手 数 料	7,900	8,100	△ 200	事務手数料
	2. 大 型 共 済 手 数 料	7,400	7,300	100	事務手数料
	3. 個 人 年 金 手 数 料	138	150	△ 12	事務手数料
2. 雑 収 入		2,650	3,000	△ 350	
	1. 雑 収 入	2,650	3,000	△ 350	成人病検診料、預金利子ほか
3. 繰 入 金		0	1,445	△ 1,445	
	1. 繰 入 金	0	1,445	△ 1,445	一般会計より繰入
合 計		18,088	19,995	△ 1,907	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比較増減 (△)	備 考
1. 給 与 費		7,466	7,466	0	
	1. 給 料	5,400	5,400	0	役職員給料
	2. 諸 給	266	266	0	諸手当
	3. 特 別 手 当	1,800	1,800	0	期末手当
2. 事 業 費		4,498	4,200	298	
	1. 事 業 費	3,934	3,900	34	加入促進費、広報活動費
	2. その他事業費	564	300	264	金融機関収納事務手数料ほか
3. 備 品 費		0	0	0	
	1. 備 品 費	0	0	0	
4. 事 務 費		904	710	194	
	1. 消 耗 品 費	30	30	0	事務用消耗品費
	2. 通 信 費	400	400	0	電話、郵便料
	3. 印 刷 費	30	30	0	諸印刷費
	4. その他事務費	444	250	194	車輛関係費、電算事務費ほか
5. 福 利 厚 生 費		1,417	1,417	0	
	1. 福 利 厚 生 費	1,417	1,417	0	社会保険料、その他福利厚生費
6. 退 職 給 与 積 立 金		702	702	0	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	702	702	0	退職給与積立金特別会計繰入金
7. 租 税 公 課		3,101	5,500	△ 2,399	
	1. 租 税 公 課	3,101	5,500	△ 2,399	法人税ほか
8. 寄 付 金		0	0	0	
	1. 寄 付 金	0	0	0	
合 計		18,088	19,995	△ 1,907	

令和5年度特定退職金共済事業特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.掛金収入		274,000	264,000	10,000	
	1.保険料	260,300	250,800	9,500	特退共掛金
	2.運営事務費	13,700	13,200	500	事務手数料
2.退職給付金受入		237,000	220,000	17,000	
	1.退職給付金	237,000	220,000	17,000	給付金
3.雑収入		1	1	0	
	1.雑収入	1	1	0	預金利子
4.繰越金		0	0	0	
	1.繰越金	0	0	0	
合 計		511,001	484,001	27,000	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比較増減 (△)	備 考
1. 給 与 費		8,076	5,997	2,079	
	1. 給 料	5,417	3,682	1,735	職員給料
	2. 諸 給	853	967	△ 114	諸手当
	3. 特 別 手 当	1,806	1,348	458	期末手当
2. 事 業 費		2,922	5,132	△ 2,210	
	1. 事 業 費	610	832	△ 222	加入促進費、広報活動費
	2. その他事業費	2,312	4,300	△ 1,988	金融機関収納事務手数料ほか
3. 備 品 費		0	0	0	
	1. 備 品 費	0	0	0	
4. 事 務 費		430	430	0	
	1. 消 耗 品 費	50	50	0	事務用消耗品費
	2. 通 信 費	300	300	0	電話、郵便料
	3. 印 刷 費	50	50	0	諸印刷費
	4. その他事務費	30	30	0	電算事務費ほか
5. 福 利 厚 生 費		1,568	1,163	405	
	1. 福 利 厚 生 費	1,568	1,163	405	社会保険料、その他福利厚生費
6. 退 職 給 与 積 立 金		705	479	226	
	1. 退 職 給 与 積 立 金	705	479	226	退職給与積立金特別会計繰入金
7. 支 払 保 険 料		260,300	250,800	9,500	
	1. 保 険 料 積 立 金	254,820	245,520	9,300	特退共保険料
	2. 運 営 委 託 手 数 料	5,480	5,280	200	運営委託手数料
8. 退 職 給 付 金		237,000	220,000	17,000	
	1. 退 職 給 付 金	237,000	220,000	17,000	退職給付金
合 計		511,001	484,001	27,000	

令和5年度倉敷商工会館修繕引当金特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 引 当 金		91,735	67,364	24,371	
	1. 繰 越 金	54,230	17,953	36,277	
	2. 本年度引当金	37,505	49,411	△ 11,906	商工会館特別会計より受入
2. 利 子		1	1	0	
	1. 利 子	1	1	0	預金利子
合 計		91,736	67,365	24,371	

支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 修 繕 費		91,736	67,365	24,371	
	1. 修 繕 費	91,736	67,365	24,371	
2. 繰 出 金		0	0	0	
	1. 繰 出 金	0	0	0	
合 計		91,736	67,365	24,371	

令和5年度退職給与積立金特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 積立金		114,518	104,419	10,099	
	1. 繰越金	104,048	94,634	9,414	
	2. 本年度積立金	10,470	9,785	685	一般会計より受入 479 法定台帳会計より受入 293 相談所会計より受入 5,146 商工会館会計より受入 3,145 共済会計より受入 1,407
2. 利子		130	130	0	
	1. 利子	130	130	0	預金利子
合 計		114,648	104,549	10,099	

支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 退職給与金		114,648	104,549	10,099	
	1. 退職給与金	114,648	104,549	10,099	
合 計		114,648	104,549	10,099	

令和5年度財政調整基金特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1.基金引当金		77,000	0	77,000	
	1.繰越金	77,000	0	77,000	
	2.本年度引当金	0	0	0	
2.利子		1	0	1	
	1.利子	1	0	1	預金利子
合	計	77,001	0	77,001	

支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1.運営費		0	0	0	
	1.運営費	0	0	0	
2.繰出金		77,001	0	77,001	
	1.繰出金	77,001	0	77,001	
合	計	77,001	0	77,001	

令和5年度労働保険事務組合特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.手 数 料		5,800	5,600	200	
	1.手 数 料	5,800	5,600	200	事務委託手数料
2.報 奨 金		3,000	3,000	0	
	1.報 奨 金	3,000	3,000	0	岡山労働局報奨金
3.雑 収 入		50	50	0	
	1.雑 収 入	50	50	0	加入勧奨手数料等
合 計		8,850	8,650	200	

支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.事 務 費		1,500	1,000	500	
	1.事 務 費	1,500	1,000	500	総コン手数料、送料等
2.繰 出 金		7,350	7,650	△ 300	
	1.繰 出 金	7,350	7,650	△ 300	一般会計へ繰入(事務組合担当職員人件費)
合 計		8,850	8,650	200	

令和5年度委員会特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 会 費		7,380	0	7,380	
	1. 委員会特別会費	7,380	0	7,380	委員会特別会費
	2. その他特別会費	0	0	0	
2. 負 担 金		700	0	700	
	1. 負 担 金	700	0	700	幹事負担金等
3. 委員会活動費		535	0	535	
	1. 委員会活動費	535	0	535	一般会計より受入
4. 雑 収 入		1	0	1	
	1. 雑 収 入	1	0	1	預金利息
5. 繰 越 金		8,420	0	8,420	
	1. 繰 越 金	8,420	0	8,420	前期より繰越
合 計		17,036	0	17,036	

支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1. 事 業 費		17,036	0	17,036	
	1. 事 業 費	17,036	0	17,036	視察研修費等
合 計		17,036	0	17,036	

令和5年度倉敷商工会議所青年部特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1.会費収入		6,560	6,800	△ 240	
	1.会費収入	6,560	6,800	△ 240	会費
2.事業収入		0	0		
	1.事業収入	0	0		
3.渉外収入		0	0		
	1.渉外収入	0	0		
4.積立金繰入		0	0		
	1.積立金繰入	0	0		
5.助成金		300	300	0	
	1.助成金	300	300	0	会議所助成金
6.雑収入		100	100	0	
	1.雑収入	100	100	0	預金利息他
7.繰越金		0	0	0	
	1.繰越金	0	0	0	
合 計		6,960	7,200	△ 240	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 事 業 費		2,515	3,890	△ 1,375	
	1. 事 業 費	2,515	3,890	△ 1,375	各委員会事業費他
2. 渉 外 費		2,391	1,392	999	
	1. 渉 外 費	2,391	1,392	999	全国会長会議登録料、 日本出向者経費他
3. 負 担 金		306	315	△ 9	
	1. 負 担 金	306	315	△ 9	日本YEG負担金他
4. 広 報 関 係 費		150	143	7	
	1. 広 報 関 係 費	150	143	7	ホームページ更新費他
5. 積 立 金		500	500	0	
	1. 積 立 金	500	500	0	設立周年記念事業積 立金他
6. 運 営 費		1,098	960	138	
	1. 運 営 費	1,098	960	138	事務費、その他諸雑費
合	計	6,960	7,200	△ 240	

令和5年度倉敷商工会議所女性会特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収 入 の 部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備 考
1.会 費		998	1,024	△ 26	
	1.会 費	998	1,024	△ 26	会費、賛助会費
2.特別会費		2,815	3,180	△ 365	
	1.特別会費	2,815	3,180	△ 365	全国大会参加費、視察 研修会費他
3.事業収入		1,500	1,500	0	
	1.事業収入	1,500	1,500	0	天満屋ふれ愛バザール、 屏風祭バザー他
4.助成金		300	300	0	
	1.助成金	300	300	0	会議所助成金
5.補助金		0	0	0	
	1.補助金	0	0	0	
6.寄付金		0	0	0	
	1.寄付金	0	0	0	
7.雑収入		10	10	0	
	1.雑収入	10	10	0	預金利息他
8.繰入金		0	1,800	△ 1,800	
	1.繰入金	0	1,800	△ 1,800	
9.繰越金		1,604	2,274	△ 670	
	1.繰越金	1,604	2,274	△ 670	前期繰越金
合 計		7,227	10,088	△ 2,861	

支 出 の 部

(単位 千円)

款	項	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 事 業 費		4,640	6,740	△ 2,100	
	1. 事 業 費	4,640	6,740	△ 2,100	全国大会、チャリティバ ザー、視察旅行、新年 祝賀会他
2. 会 議 費		300	300	0	
	1. 会 議 費	300	300	0	通常総会、諸会議他
3. 事 務 費		50	50	0	
	1. 事 務 費	50	50	0	消耗品費他
4. 通 信 費		50	100	△ 50	
	1. 通 信 費	50	100	△ 50	郵送料、電話料
5. 旅 費		170	100	70	
	1. 旅 費	170	100	70	旅費、交通費
6. 基 金 積 立 金		300	300	0	
	1. 基 金 積 立 金	300	300	0	積立金会計へ繰入
7. 予 備 費		1,500	2,300	△ 800	
	1. 予 備 費	1,500	2,300	△ 800	予備費
8. 雑 費		217	198	19	
	1. 雑 費	217	198	19	諸雑費
合 計		7,227	10,088	△ 2,861	

令和5年度くらしきTMO特別会計収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

倉敷商工会議所

収入の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1.市補助金		21,610	21,610	0	
	1.市補助金	21,610	21,610	0	中心市街地活性化、三 斎市開催補助金
2.負担金		4,830	5,260	△ 430	
	1.負担金	4,830	5,260	△ 430	会議所ほか負担金
合	計	26,440	26,870	△ 430	

支出の部

(単位 千円)

款	項	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (△)	備考
1.事業費		16,030	17,220	△ 1,190	
	1.事業費	16,030	17,220	△ 1,190	屏風祭、フォトミユラル、 三斎市開催費、事務局 運営費他
2.管理費		9,210	8,450	760	
	1.管理費	9,210	8,450	760	担当職員人件費、事務 所賃貸料他
3.倉敷まちづくりセンター跡地管理運営費		1,200	1,200	0	
	1.倉敷まちづくりセンター跡地管理運営費	1,200	1,200	0	センター跡地維持管理 経費他
合	計	26,440	26,870	△ 430	